

JISA西日本地区会開催

令和6年2月1日（木）、大名カンファレンス 会議室（福岡大名ガーデンシティ・タワー 3・4階）において、西日本地区会（代表幹事：田中 功/（株）BCC 代表取締役社長）が例会を開催した。参加者は38名。

冒頭、西日本地区会代表幹事の田中 功氏から「今年は様々な出来事が起きており、特に辰年は大きな変動が予測される。前回の辰年（2012年）では自民党の政権奪還、尖閣問題、消費増税法の成立などがあった。これを踏まえ、今年も変革の年だとみている。九州では半導体メーカーを中心に工場の進出が進み、経済が活性化している。また、情報サービス産業も社会課題の解決手段として注目を集めている。JISA2030の実現に向けて、西日本地区会の会員企業に対して情報発信や意見交換を進め、良い年にするための取り組みをしていきたいと考えている。」と開会挨拶があった。



田中西日本代表幹事 開会挨拶



続いて、JISA 関連報告として JISA 副会長兼専務理事の宮本 武史氏から「失われた 30 年」と情報サービス産業～デジタル社会とは人が輝く社会」と題した講演があった。また、株式会社オーイーシー代表取締役社長の加藤 健氏から「JISA デジタル社会推進部会の取り組み報告『自治体標準化・ガバクラ化とその後』」と題した報告があった。

その後、特別講演として、ふくおか 経済 編集部長 田中 聡一郎氏から「スタートアップ都市福岡の魅力」と題した講演と株式会社レジェンドパートナーズ 取締役会長 兼 NES 株式会社 ファウンダー 海老根 智仁氏から「地方ベンチャー企業とのリレーションシップ」と題した講演があった。

最後に、情報交換会が同会場に行われた。乾杯挨拶では船越副会長から「本日は対面で皆様と情報交換できることができ、大変嬉しく思っている。」との挨拶があった。



船越副会長 乾杯挨拶